

gallery ON THE HILL

ギャラリー・オン・ザ・ヒル
東京都渋谷区猿楽町 18-8
ヒルサイドテラス F 棟 1F

www.galleryonthehill.com

2019年1月8日

関係者各位

「内田鋼一展 - 続・猿楽にて-」

会場 代官山ヒルサイドテラス ヒルサイドフォーラム・gallery ON THE HILL

2019年2月15日（金）-2月24日（日）

gallery ON THE HILL（代官山ヒルサイドテラス内）では、2019年2月15日（金）から2月24日（日）まで、現代陶芸の旗手 内田鋼一の個展「内田鋼一展-続・猿楽にて」を開催いたします。

三回目となる本展覧会では、陶やいろいろな素材による平面を中心とした内田鋼一の作品を展示、販売いたします。

多様に移りゆく世の中で、世界を旅してきた内田鋼一が表現する美学を、この猿楽にて、皆様に感じていただきたいと思っております。



作家 内田鋼一について

本展覧会の作家 内田鋼一は、特定の師や会派に属さず、世界各国（東南アジア、インド、アフリカ、オーストラリア、欧米など）の窯場に住み込み修行を重ね、独自の表現を体得した異才の作家です。

1992年三重県四日市市に窯場を構え、21歳で作家として独立。2000年「うつわをみる - 暮らしに息づく工芸 -」展（東京国立近代美術館工芸館）へ出展。2003年、初個展「UCHIDA KOICHI」展（パラミタミュージアム・三重）にて、高い評価を獲得。その後、ニューヨーク、ロンドン、オーストラリア、イタリアなど国内外で精力的に発表を続けています。

作品の特徴

内田がものづくり（ヤキモノ）のうえで大切にしていることは、「内からの力をはらんだヤキモノをつくる」こと。その土地固有の土をよく知り、自分の内から湧きあがる柔軟で大胆な発想により、その素材感や香りまでも生かし「かたち」づくり。一見シンプルですが、プリミティブな力強さと繊細さが混在した内田の作品群は、国籍を超え「無国籍」な作風として広く知られています。

展覧会概要

- 展覧会： 「内田鋼一展 - 続・猿楽にて」
会期： 2019年2月15日（金） - 2月24日（日） 11:00~19:00
※初日 2月15日（金）は12時からの開始となります。
※最終日 2月24日（日）は17時まで
入場料： 無料
会場： 代官山ヒルサイドテラス ヒルサイドフォーラム gallery ON THE HILL
〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町18-8 ヒルサイドテラス F棟1F
www.galleryonthehill.com
展示作品 陶やいろいろな素材による、平面を中心とした作品、茶碗、オブジェなど
オープニングレセプション： 2月15日（金） 18時より20時30分
トークイベント 19時 ~ 20時
主催 一般社団法人オンザヒル www.galleryonthehill.com
〒150-0033 東京都渋谷区猿楽町18-8 ヒルサイドテラス F棟1F
協力 ヒルサイドテラス

本展に関するお問い合わせ info@galleryonthehill.com

内田鋼一略歴

- 1969年 愛知県名古屋市に生まれる
- 1990年 愛知県立瀬戸窯業高校陶芸専攻科修了
- 1992年 三重県四日市市にて独立
- 1993年より個展を中心に活動
- 1999年 「東海の陶芸」展（名古屋国際会議場・愛知）
- 2000年 「うつわをみる－暮らしに息づく工芸－」展（東京国立近代美術館工芸館）
- 2003年 「UCHIDA KOUICHI」展（パラミタミュージアム・三重）
作品集「UCHIDA KOUICHI」が求龍堂より刊行
- 2004年 「静謐なかたち 内田鋼一 Uchida Kouichi works : 2003-2004」展
（4th MUSEUM RIVER RETREAT 雅楽俱・富山）
- 2006年 「陶芸の現在、そして未来へ Ceramic NOW+」展（兵庫陶芸美術館）
“SOFA”（ニューヨーク）
JAPANESE CRAFTS（ギャラリーベッソン・イギリス・ロンドン）
- 2008年 「新進陶芸家による 東海現代陶芸の今」展（愛知県陶磁資料館）
“Melbourne Art Fair”（オーストラリア・メルボルン）
“Rosso : Uchida Kouichi”（Daniela Gregis・イタリア・ベルガモ）
「aim (art in mino) 08・土から生える」展（多治見市、土岐市、瑞浪市・岐阜）
- 2009年 「第43回『明治村茶会』日本庭園、野点席 席主担当」（愛知県犬山市明治村）
- 2010年 「第3回智美術館大賞展 現代の茶－造形の自由」展（菊池寛実記念 智美術館・東京）
「茶事をめぐって－現代工芸の視点」（東京国立近代美術館工芸館）
- 2011年 「『MADE IN JAPAN』内田鋼一 collection」展（museum as it is・千葉）
「白磁・青磁の美－伝統と創造」内田鋼一 茶の空間」展（榮翠亭美術館・富山）
「井上有一・内田鋼一」展（箱根菜の花展示室・神奈川）
「作る力 creators for every day life」（金沢21世紀美術館、石川）
- 2012年 「大地の芸術祭 越後妻有アートトリエンナーレ2012」（十日市・新潟）
「交差する視点とかたち」展（札幌芸術の森美術館/ 北海道立釧路芸術館）
“SOFA”（アメリカ・シカゴ）
- 2013年 「内田鋼一展－うちわからの風景」（paramita museum・三重）
- 2014年 「内田鋼一展・猿楽にて」（代官山ギャラリーオンザヒル・東京）
- 2015年 「工藝を我らに」（資生堂アートハウス・静岡）
「樂翠亭美術館開館5周年記念展 内田鋼一－手と眼－」（樂翠亭美術館・富山）
「BANKO archive design museum」（三重県四日市市）を開館。

- 2016年 「内田鋼一展 -いろいろ-」(代官山ギャラリーオンザヒル・東京)
- 2017年 「形の素 赤木明登 内田鋼一 長谷川竹次郎」(樂翠亭美術館・富山)
「沼波弄山生誕三百年 BANKO300th」総合プロデューサーに就任。
- 2018年 「萬古焼の粋-陶祖 沼山弄山から現在、未来へ繋がる萬古焼」
(ばんこの里会館、三重)を企画、監修

他 スペイン・フランス・イタリア・オーストラリア・西アフリカ・ベトナム・タイ・韓国・
中国・台湾・インド・アメリカ・南米などで制作及び発表



